

令和6年3月21日	
資料提供	
担当課(室)	かつらぎ町 産業観光課
担当者	林業振興係 宇都宮 良太
電話(代表)	0736-22-0300 (内線) 2102



かつらぎ町の1歳6か月児に オリジナル「木のおもちゃ」プレゼント

かつらぎ町の木材から製作した「木のおもちゃ」を、1歳6か月健診時にプレゼントします。

これは、子どもたちに木の良さを肌で感じてもらい、「木とふれあい、木に学び、木でつながる」という木育の取り組みです。木材への親しみや理解を深めることで、かつらぎ町の林業や木材産業の発展にも貢献します。

1. 初回日時 : 令和6年4月16日(火) 午後1時から
(場所: 保健福祉センター2階)
2. 対象者 : 令和4年4月以降に出生したかつらぎ町在住の幼児
3. 内容 : 1人1セット(ブロック9個、すずひめ、大輝、支え、サイコロ)
 - ・太鼓橋ブロック…スギ
 - ・太鼓橋支え…ヒノキ
 - ・すずひめ…コウヤマキ
 - ・大輝…サクラ
 - ・サイコロ…ヒノキ



デザイン: esora (エソラ) 橋元美穂 氏

製作: 木育サポートネットわかやま代表 光永武史 氏

見どころ・ポイント

このおもちゃは、世界遺産「丹生都比売神社」のご神犬と輪橋(太鼓橋)をモチーフにした、かつらぎ町オリジナルのデザインです。かつらぎ町内の職人 光永さんが、ひとつひとつ大切に作りました。

町長からのメッセージ



みなさまこんにちは。かつらぎ町長の中阪です。
このおもちゃは、こどもたちが木にふれあい、すくすくと育てていただきたいという思いで取り組みました。
町民のみなさまと共に、こどもにとっても豊かな魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、今後ともどうぞよろしく願いたします。

かつらぎ町長 中阪 雅則

【取扱い上のご注意】

- ・親子で遊びましょう。
- ・上に乗る、火に近づけるなど危険な使い方はしないでください。
- ・破損した場合は、誤飲や怪我の恐れがありますので、使用しないでください。
- ・乾燥や湿気を避けて保管してください。
- ・表面が毛羽立ってきた際は、目の細かいサンドペーパーで軽く磨いてください。
- ・汚れがついたときは、きつく絞った布で水拭きをし、風通しの良い日陰でしっかり乾してください。
- ・風呂敷は、天然染料を使用しているため色落ち、色移りする場合があります。お洗濯の際は必ず他の物と分けてお洗ってください。

【セット内容】

樹種：太鼓橋ブロック…スギ
太鼓橋支え…ヒノキ
すずひめ…コウヤマキ
大輝…サクラ
サイコロ…ヒノキ

数量：1セット
(ブロック9個、すずひめ、大輝、支え、サイコロ)

お問い合わせ

〒649-7192

和歌山県伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町2160番地

かつらぎ町役場 産業観光課 林業振興係

TEL：0736-22-0300 FAX：0736-22-6432



木育サポートネット
わかやま
代表 光永 武史
0736-20-5662



4 595989 091010



森林環境税

※この取組は森林環境譲与税を
充てております。

「すずひめ」と「たいき」の

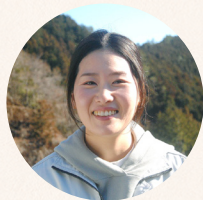
たいこばし

太鼓橋つみき



 **かつらぎ町**
KATSURAGI TOWN

ご神犬と太鼓橋



丹生都比売神社のご神犬と輪橋（太鼓橋）をモチーフにしたおもちゃをデザインしました。

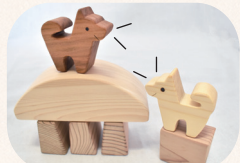
積み木を積んで、最後に中央の支えのブロックを外すと、宙に浮かんだアーチ橋を積むことができます。丹生都比売神社の太鼓橋を初めて見たときの感動を積み木でも味わえるようにと思い、この形を選びました。また、ご神犬であるすずひめと大輝も積み木の上に乗せて遊べます。

かつらぎ町に生まれた子が、このおもちゃで遊ぶことをきっかけに、神社の歴史や文化、木材や森林へと成長とともに興味を広げていってくれると嬉しいです。

【デザイナー】 esora（エソラ） 橋元 美穂

遊び方

- 1 積み木同士を打ち鳴らして遊ぶ。並べて遊ぶ。積んで遊ぶ。
- 2 すずひめと大輝でごっこ遊びをする。



- 3 アーチ状に積んで、支えのブロックを外す。
- 4 ブロックを並べて、すずひめと大輝を両端に置き、サイコロを降ってどちらが早く反対側に辿り着けるかを競う。



木のぬくもりを届けます



かつらぎ町で育った木を使い、かつらぎ町の職人の手でひとつひとつ大切に作った、かつらぎ町オリジナルのおもちゃです。

「木とふれあい、木に学び、木と生きる」いよいよかつらぎ町の木育が、ふれあうことからスタートします。プラスチックのおもちゃと違い、木のおもちゃは木目や色目が少しずつ違う、世界で1つだけのおもちゃです。1人1人が自分だけのおもちゃとして、大切にいただければと思います。

かつらぎ町の子どもが自然に感謝する優しい人に育ちますように。

【製作者】 木育サポートネットわかやま 代表 光永 武史

「丹生都比売神社」のご神犬と輪橋（太鼓橋）

1700年以上前に建てられた神社で2004年に世界遺産に登録されています。

弘法大師は、この神社から土地を授かり、高野山を開山しました。この神さまのお使いである黒と白の犬が大師を高野山まで案内したと伝えられていることから、白の紀州犬のすずひめと、この子で黒の大輝（たいぎ）がご神犬としてのおつとめをしています。輪橋は、豊臣の淀殿の奉納です。ご神犬と輪橋は、かつらぎ町が誇る世界遺産・丹生都比売神社の象徴的存在です。



写真（左）すずひめ（右）たいぎ

柿渋染め風呂敷



フードロス対策により本来廃棄される町産の柿で染色しております。